

卒業生を囲む会

2018. 3. 15



31回生9人の先輩方を囲んで、1年生は3時間目に、2年生は4時間目に合格体験談を聞きました。各学年における反省、授業や小テスト、課題への取り組み方、補習の活用など具体的なアドバイスがありました。また、もちろん学習も大切ですが、部活動や行事を精一杯やり抜くことが、受験へのモチベーションにつながったという声も多く聞かれました。

「苦手な科目を諦めず、また、判定に振り回されることなく最後までやり抜いた」という先輩方に続いて、32回生、33回生も頑張してほしいものです。



【 1年生の感想 】

私は今まで小テストを怠けていました。でも現役で大学には合格したいという気持ちが強くあります。今日の話聞いて、自分は甘すぎると痛感しました。どの先輩も必死に勉強して合格を勝ち取ったのに、自分はその覚悟ができていなくて、なんだか悔しいような情けない気持ちになりました。私は2年後に悔し涙を流したくないので、2年後の自分を想像しながら勉強に取り組もうと決めました。



【 2年生の感想 】

ずっと、3年生になったら…夏休みから…と先延ばしにしていくところだったけれども、夏休みからじゃ遅いと言われて受験を甘く見ていることに気がついた。まだ、受験生としての自覚がないので先輩が使っていたというアプリでライバルがどのくらい勉強しているのかを知って、やる気を出そうと思った。文系なら数学を伸ばして他と差をつけるというのも作戦の1つだと思った。いろんな勉強法があって、全部やってみたいと思ったがその中でも特に去年の先輩も言っていた英語の音読をしてみようと思う。